

みんなの議会 おおさと



町花：つつじ

令和8年8月1日

No. 2223

第7回

議会報告会

議会の資料を熱心に読み込む皆さん

p.2 小学6年生 議会を見学

p.5 9名が町政を質す（一般質問）

p.16 議会報告会

p.19 追跡リポート

たかはし
高橋あゆむさん
(6年1組)



議会見学で学んだこと

私は、六月三日に議会見学に行きました。初めての議会見学で胸を高なせながら議場に入りました。そこは、緊張感たようピリピリとした雰囲気教育長さんや、町長さんが座っていました。まもなくして始まった会議を見て私が学んだことは、私たちがなにげなく生活しているこの町は、たくさんの人々の試行錯誤によって支えられているのだということです。私たちの町は、十年後には小中学生が減少し、一学級になると見込まれています。その問題を解決するためには、住宅の充実や支援などを行い町民の生活を守ることが大切です。このように私たちの知らない所で、たくさんの人々が私たちにかわっていることが分かりました。

私は、この会議を見て私たちを支えている人々に感謝し、今私に出来る事は何かを考え行動していこうと思いました。

たかはし ゆな
高橋 幸愛さん
(6年1組)



議会に行きって学んだこと

私は、六年生になって初めて校外学習で議会に行きました。最初に議場に入ったとき、私は、緊張していましたが議長さんが、「みなさん、おはようございます。」と優しく言ってきて、緊張がとけました。議場には、議長さん、副議長さん、町長さん、教育長さん、議員さん、各課の課長さんなどがいました。座っている位置は、議長さんが一番上にいました。座る姿勢がみんな良くてすごいなと思いました。話し方は、すらすらと話す人やはっきりと話す人がいました。机は、三つほどつながっていて、マイクが全ての机についていました。タイマーには、出席人数や発言時間などが書いてありました。

議会は、私たち町民のために色々なことを話し合っていました。テレビなどで見ていたことを現実で見ることができて、この経験を今後の生活に活かしたいです。

みずた れんと
水田 蓮翔さん
(6年2組)



大郷町議会を見学した感想

ぼくは、大郷町議会を見学して、たくさんの人が大郷町をよりよくするための話し合いをしていることを初めて知りました。議会には最初とてもむずかしいイメージを持っていましたが、実際は自分たちの町や学校など身近な事についての話し合いをしていておどろきました。また、しっかり相手に伝わるように話したり、意見がちがってもしっかり話を聞きながら進めているのが印象に残りました。

ぼくたちの町はこういう話し合いによって、安全に暮らせ学校にも行けているので、議会はとても大切な場所だと感じました。

ちば たいき
千葉 大輝さん
(6年2組)



議会見学を終えて

ぼくは、授業で学習した議会を見学して、町長や議員の方々が大郷町の未来について、色々な意見を交わしながら、真剣に話し合っている姿に、とても嬉しくなりました。議会に出た意見、提案はすぐに採用されるのかと思っていましたが、町長が全員の意見を聞いたうえで、まずは町民の安全を第一に考え、よりよい町を作るために様々な工夫をしながら動いてくださっていることが分かりました。

今、ぼくたちが大郷町で安心して暮らせているのは、こうやってたくさんの人たちが議会で話し合いをしてくれているからで、感謝の気持ちでいっぱいです。

貴重な議会見学に参加でき、とてもいい思い出になりました。本当にありがとうございました。

大郷小
6年生

議会を傍聴

令和8年6月3日、大郷小学校の6年生62人が議会を傍聴し、一般質問の様子を見学しました。



▲6年1組



▲6年2組

一般議案は報告 6 件、条例の一部改正 4 件について審議し
原案どおり可決しました。

- 【議案第31号】 大郷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
児童福祉法の一部改正に伴うもの。
- 【議案第32号】 大郷町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
児童福祉法の一部改正に伴うもの。
- 【議案第33号】 大郷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
児童福祉法の一部改正に伴うもの。
- 【議案第34号】 大郷町水道事業給水条例の一部改正について
給水区域を追加するもの（大松沢地区：新堀・相ノ田）。



議案採決結果一覧表

分類	議 案 名 (略 称)	採決結果	鈴木 安則	赤間 繁幸	鎌田 暁史	鈴木 利博	赤間 則幸	佐々木 和夫	鈴木 恵子	金須 新一	田中 三恵子	熱海 文義	高橋 重信	石垣 正博
第2回定例会	報告 報告第2～7号	報告のみ												
	議案第31号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第32号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を求める条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第33号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第34号 水道事業給水条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
補正予算	議案第35号 一般会計(第2号) 57億8660万8千円 (1億2870万7千円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない。

次ページから一般質問

9名が町政を質す！

質問議員	質 問 件 名	掲載ページ
きす しんいち 金須 新一 議員	1. 大規模林野火災発生時の備えは 2. 支倉常長公と縁のある自治体との交流を	P 6
すずき けいこ 鈴木 恵子 議員	1. 女性防火クラブについて 2. ふれあい農園について 3. 環境美化対策について	P 7
あか ま のりゆき 赤間 則幸 議員	1. 町長公約の進捗状況は 2. 道の駅に温泉施設を	P 8
たなか み え こ 田中三恵子 議員	1. 災害支援型自動販売機設置の推進を 2. 町観光スポットの整備を 3. リチウムイオン電池回収の周知を	P 9
かま だ あきふみ 鎌田 暁史 議員	1. 介護保険料について 2. 木造住宅耐震改修について 3. 町議会の解散請求署名について	P 10
すず き としひろ 鈴木 利博 議員	1. 部活動遠征時の安全管理 2. 中東情勢の影響による支援 3. 10年後 町の未来図	P 11
すず き やすのり 鈴木 安則 議員	1. 大郷町かわまちづくり事業の進捗について 2. 粕川地区コミュニティセンターについて 3. S S P事業予定地の基盤整備再編入の状況は	P 12
あか ま しげゆき 赤間 繁幸 議員	1. 観光の振興について 2. 商工業の振興について 3. 住環境整備支援について	P 13
さ さ き かずお 佐々木和夫 議員	1. ふるさと納税について 2. オーガニックビレッジについて	P 14

熊対策、農業支援を計上

一般会計補正予算（第2号）は歳入歳出それぞれ1億2870万7千円を
追加し、総額は57億8660万8千円となりました。

4000
万円

侵入防止フェンス
設置工事



大郷小学校

問 工事内容は。
答 熊の侵入を防止するため、小学校の南側に高さ約2メートルのフェンスを設置する。

2078
万円

地域農業構造転換
支援事業補助金



コンバイン

問 補助内容は。
答 農業法人にコンバイン3台（うち1台はリース）、トラクタ1台の農業用機械の導入を支援する。

2100
万円

果樹伐採業務
(熊対策)

昨年度は98本を伐採、今年度は180本を伐採予定

121
万円

施設備品購入費

道の駅2階に県産材を使用した「置き型授乳室」を設置予定

主な質疑

教材備品購入費（880万円）

問 単価増となったのは何台分か。
答 小・中学校で今年度に導入を予定していたタブレット端末380台分。

社会福祉協議会施設改修補助金（572万円）

問 改修内容は。
答 施設内の和式トイレを洋式に切り替え、男子トイレの一部を多目的に使用できるようにする。

会計年度任用職員報酬（1267万円）

問 6名分の人件費だが、役場内の業務遂行に問題はないのか。
答 各課から聞き取りを行い、必要な予算を計上した。本来は正式な職員を採用すべきであるが、会計年度任用職員との連携により事業は可能である。

熊緊急対策出役費（223万円）

問 猟友会への経費支払いの改善は。
答 従来の年1回の支払いを年2回と協議会で相談しているところである。引き続き、県からの交付金を原資としていく。



すずき けいこ 鈴木 恵子 議員



女性防火クラブの在り方は

組織づくりを共に考えていきたい(町長)

問 女性防火クラブは、行政区によって活動の負担に差があると感じるが、町として現状把握はされているか。

答 町長 女性防火クラブに限らず地区役員のなり手不足で苦勞されていることは把握している。

問 従来型にこだわらず、持続可能な地域防災組織としての女性防火クラブの在り方を町は示すべきでは。

答 町長 行政区選出団体の運営状況等を確認し、各行政区の考え方も聞きながら、地域の実情にあった持続的な組織づくりを共に考えていきたい。

環境美化対策

問 「ゴミゼロクリーン作戦」を通じて、行政区ごとのポイ捨て、不法投棄の発生箇所について、情報収集を行っているか。

答 町長 今年中に示していきたい。

問 来年度の貸農園事業の継続・見直しの判断時期は。

答 町長 現在、民間企業等との協議の中で、貸農園事業にとどまらない多角的な活用可能性について調整している。新たな展開が見込めない場合は、賃料の減額や土地の返還も含め、地権者と協議する。

問 現在、50区画中1区画のみの利用者、地権者と今年度の賃貸借契約は単年契約となっている。現時点で、来年度以降に向け、どのような方向性を検討しているのか。

答 町長 現在、民間企業等との協議の中で、貸農園事業にとどまらない多角的な活用可能性について調整している。新たな展開が見込めない場合は、賃料の減額や土地の返還も含め、地権者と協議する。

ふれあい農園

問 「ゴミゼロクリーン作戦」は単年度の清掃活動として捉えているのか。継続的な環境美化対策へと結び付けているのか。

答 町長 環境衛生組合長の皆さまから、情報提供されている。ゴミゼロ作戦実施日だけでなく、不法投棄等の発生の連絡の際は、現場を確認し対応している。また、シルバー人材センターとの業務委託契約により、週2回程度、町内を巡回し、報告がある。

問 「ゴミゼロクリーン作戦」は単年度の清掃活動として捉えているのか。継続的な環境美化対策へと結び付けているのか。

答 町長 町民の皆さまのゴミゼロへの意識の高揚を図り、清潔で快適なまちづくりを目指すことを目的としている。町内一斉に行うクリーン作戦と各地区の活動を継続し、環境美化対策を図っていく。



▲みんなできれいな町づくり

大規模林野火災発生時の備えは

黒川地域消防本部との連携強化を図っている(町長)



きす しんいち 金須 新一 議員



問 全国各地で、大規模な林野火災が発生している。消防団現有資機材は、どのような状況なのか。

答 町長 主なものとして小型ポンプ積載車5台、小型ポンプ17台、ホース269本、無線機37台、背負い式消火水のう6個、スコップ、ホーク等になる。

問 大規模な林野火災に備えての訓練等、十分に実施されているのか。また、予防対策の取り組みは。

答 町長 黒川地区支部での長距離中継送水訓練や小型ポンプ操法訓練の実施。予防対策は、消防団による警戒活動や黒川地域消防本部との連携強化を図っている。

問 自衛隊や緊急消防援助隊が、応援に駆けつけてき

支倉常長公と縁のある自治体との交流を

問 スペインのコリア・デル・リオ市と交流を再開し、将来的には友好都市提携等を結ぶことを念頭に観光・教育・文化等の発展を目指して、国際交流することが、本町にとって有益な取り組みになると考えられるか。

答 町長 支倉常長公ゆかりの地として、教育・文化・産業等の各分野で国際的な視野を広げることが、地域の活性化や人材育成に資するものと認識している。今後は、「支倉都市同盟」を通じて、交流再開の可能性や新たな形での国際交流の在り方について検討を進める。

問 山形県米沢市は、支倉常長公の誕生の地であり、

た場合、迅速かつ適切な対応が可能な状況にあるのか。

答 町長 大船渡市や大槌町への派遣活動を経験された黒川地域消防本部の助言をいただきながら、対応していく。

本町は終焉の地とされている。まずは文化や教育の面から交流のきっかけを模索して、将来的には産業振興や観光等多角的に連携し、双方の活性化につながるよう努めていく。



▲資機材配備の強化を



た な か み え こ
田中 三恵子 議員



災害支援型自販機の設置を

設置の可能性について総合的に判断(町長)

問 ※災害ベンダー機能をもつ自販機の設置状況は。

答 町長 設置したことはない。

問 粕川地区防災コミュニティセンターやフラップ大郷21等の指定避難所への設置を検討しては。

答 町長 必要性は理解している。町に負担をかけず活用できる可能性について、業者と話し合いを進めたい。

問 東日本大震災の経験から生まれた災害対応紙カップ式自販機は、浄水機能や加熱機能を内蔵し、粉ミルク用のお湯を提供できるなど、重要なライフラインとなる。

答 町長 災害協定を結び初期費用無償の導入や、財源についても補助金等の対象となる

問 観光スポットの整備を

答 町長 管理や整備体制が十分と感じる公園がある。トイレの整備が必要では。

問 町長 観光施設としての需要も確認し、トイレも含め今後の位置付けを検討する。

問 町のPR活動を職務とする地域おこし協力隊に、活動の一貫として、木製などの耐久性のある看板製作を依頼しては。また、木材などの経費を賄ってもらえるか。

答 町長 協力隊の活動内容やスキルを生かした取り組みとして検討の余地がある。資材費の負担は、確認の上検討する。

問 観光シーズンを控え、遊歩道や手すり、階段など



▲お湯でミルクやアルファ米調理 !!

問 リチウムイオン電池回収の周知を

答 町長 安全確保のための維持管理は最低限必要。引き続き適切な対応をしていく。

問 黒川地域でも、ごみ収集車の火災があった。パレット配布はあるが、有害ごみの捨て方は難しいと感じる。さらに丁寧な情報提供をしては。

答 町民課長 環境衛生組合の皆さまに研修で捨て方をお知らせし、さらに周知をしていただく。

問 黒川地域でも、ごみ収集車の火災があった。パレット配布はあるが、有害ごみの捨て方は難しいと感じる。さらに丁寧な情報提供をしては。

答 町民課長 環境衛生組合の皆さまに研修で捨て方をお知らせし、さらに周知をしていただく。

問 黒川地域でも、ごみ収集車の火災があった。パレット配布はあるが、有害ごみの捨て方は難しいと感じる。さらに丁寧な情報提供をしては。

答 町民課長 環境衛生組合の皆さまに研修で捨て方をお知らせし、さらに周知をしていただく。

町長公約の進捗状況は

実現に向けて取り組んでいく(町長)



あ か ま の り ゆ き
赤間 則幸 議員



問 町民と約束した「町民と共に進める新しい大郷町」を掲げ、新町長に就任して間もなく1年がたとうとしている。町長が掲げた公約の6本の柱の進捗状況がなかなか見えてこない。公約をどのようにして実現するのか。

答 町長 町民の皆さまとのお約束として、現在、計画的に取り組を進めている。それぞれの施策については、財源の精査や関係機関との調整を進めており、進捗状況には段階の違いはあるが、優先度や費用対効果を踏まえ、実現に向けて取り組んでいく。

問 いつまでに調整し、結果が出るのか。

答 町長 できることについては、9月定例会頃に出

問 道の駅に温泉施設を

答 町長 道の駅が本町の活力創生を担う重要な拠点であるというこの認識には、深く同意する。

問 町で唯一にぎわいのある道の駅をパワーアップする事がさらなる活気のあるまちづくりにつながっていくと考える。そのためにも温泉施設をつくり、交流人口増加、町民の健康増進のため是非とも進めてほしい事業と考えるが、町長の見解は。

答 町長 道の駅が本町の活力創生を担う重要な拠点であるというこの認識には、深く同意する。



▲町民の健康増進のため(大崎市・豆坂温泉)

上につながる一方、多額の初期投資や維持管理コストの発生など、財政面や運営コストにおいて多くの課題が想定される。そのため、町が事業化することは極めて困難である。

問 道の駅は松島に近いので、観光客を呼び寄せるため思い切った投資が必要ではないか。

答 町長 確かに思い切った投資をしないと何にもできない。将来的に「防災道の駅」としても整備できないか、今模索している。



鈴木 博 議員



中東情勢による影響の把握は

調達遅延・価格高騰の事例を認識(町長)

問 ナフサ不足が生じ、さまざまな業種に影響が出始めている。事業を継続していくのに困難と認めた場合、町として具体的な支援は行わないのか。

答 町長 世界情勢に起因する構造的課題ではあるが、地域経済を支える事業者への支援は必要だと考えている。

問 まずは国や県の強力なセーフティネット資金や制度融資などを迅速に活用できるよう、商工会とも連携しながら、経営や金融に係る伴走支援を行っていく。

答 町長 直接的な現金給

問 ナフサ不足が生じ、さまざまな業種に影響が出始めている。事業を継続していくのに困難と認めた場合、町として具体的な支援は行わないのか。

答 町長 世界情勢に起因する構造的課題ではあるが、地域経済を支える事業者への支援は必要だと考えている。

問 まずは国や県の強力なセーフティネット資金や制度融資などを迅速に活用できるよう、商工会とも連携しながら、経営や金融に係る伴走支援を行っていく。

答 町長 直接的な現金給

部活動遠征時の安全管理

問 ゴールデンウィークに磐城高速道で高校生を亡くすという痛ましい事故があった。部活動遠征時等の安全管理に問題がないか。

答 町長 これまでも学校において、引率教員の適正な配置や、スケジュールの事前確認などを実施しており、安全管理に問題はないと認識している。

問 ゴールデンウィークに磐城高速道で高校生を亡くすという痛ましい事故があった。部活動遠征時等の安全管理に問題がないか。

答 町長 これまでも学校において、引率教員の適正な配置や、スケジュールの事前確認などを実施しており、安全管理に問題はないと認識している。

問 ゴールデンウィークに磐城高速道で高校生を亡くすという痛ましい事故があった。部活動遠征時等の安全管理に問題がないか。

答 町長 これまでも学校において、引率教員の適正な配置や、スケジュールの事前確認などを実施しており、安全管理に問題はないと認識している。

この度の磐城自動車道の事故を受け、県教育委員会から「移動を伴う部活動の事故防止」に関する通知があり、この通知に準じ、さらなる事故防止と安全管理に努めていく。

ナフサ不足

▲1日も早く解消してほしい

「介護保険料」低減化の見通しは

年々サービス費用が増え、難しい(町長)



鎌田 暁史 議員



問 介護保険料は、なぜ高いのか。

答 町長 さまざまな要因が重なり、高い金額になっている。サービス利用件数、利用料共に増加し、人口減少が進み、1人当たりの負担が増加している。

問 第10期の介護保険事業計画では、介護保険料の低減化対策が必要と考えるが。

答 町長 年々介護サービス費用は増加しており、6年度約10億6800万円、7年度では約11億3600万円であり、6800万円増加している。8年度当初予算ではさらに増加し、約12億6300万円を見込んでいる。

問 6年度、7年度の実績と8年度の予算額で改めて第9期計画の基準額を試算する。

問 介護保険料の減免や徴収猶予の実績は。

答 町長 減免・猶予の実績はない。

問 国の負担を増やす要望の継続を。

答 町長 今年もいろんな場面を通して強く要望していく。

問 耐震改修が停滞している理由と、その対策は。

答 町長 補助金を利用しても、自己負担が数百万円規模になるため。

問 今後の対策として、広報紙や町ホームページでの継続的な周知に加え、住宅所有者への訪問や個別通知の送付など情報提供をしていく。

問 代理受領制度を検討すべきでは。

答 町長 要綱の改正や手続きフローの作成など、令和9年度施行に向けて準備

木造住宅耐震改修

問 新耐震基準で1981年(2000年に建築された木造住宅を助成対象とする対応は。

答 町長 今年度中の助成制度改正に向けて現在、具体的な準備を進めている。

町議会の解散請求署名

問 裁判で控訴を断念した理由は。

答 選挙管理委員長 控訴するための新たな証拠がないことから、選挙としても

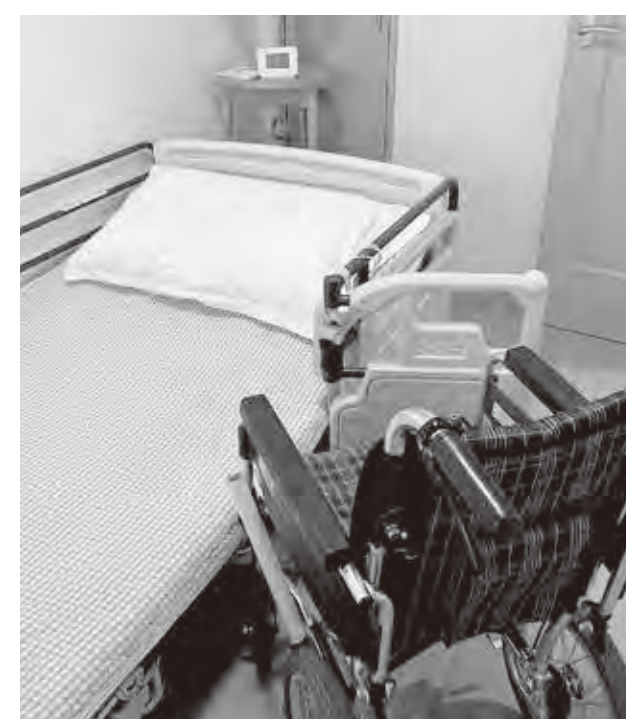
問 町長の判断を受け止めた。判決を受けて何が不足していたか検証は。

答 選挙管理委員長 不足があったのではないかの指摘は真摯に受け止めている。

問 弁護士費用は。

答 町長 着手金が33万円、報酬金が22万円となり、予備費で対応した。

問 代理受領制度：申請者に代わって事業者が補助金を受け取ることで、申請者の負担を軽減する制度。



▲介護保険の国庫負担引き上げを

10年後 町の未来図

問 年代別の人口は。

答 町長 町の総合計画では、出生率の改善や移住促進などの施策を前提に、令和17年時点で6952人を目標としており、14歳以下の年少人口は735人10・6%、15歳から64歳の生産人口は3656人52・6%、65歳以上の老年人口は2561人、36・8%となっている。

問 町が保有する施設・緑の郷・庁舎・文化会館はど

問 役場庁舎の建て替えは。

答 町長 多くの施設が耐用年数を迎える中、公共施設整備計画に基づき建て替えや長寿命化を検討している。

問 財政課長 10年後においては、当然、新たな庁舎というものも検討しなければならぬ。

問 プロジェクトチーム等結成しながら、建て替えの場合のスケジュールとして、令和17年度開庁を目指すものとして考えている。



あか ま しげ ゆき
赤間 繁幸 議員



なぜ観光の振興か

町内全域を巡る人の流れ創出(町長)

問 観光資源の魅力を発信していく具体的な考えを伺う。「道の駅」をどうしていくのか。

答 町長 地域活性化の拠点と考えており、今後は目的的地として選ばれる道の駅を目指していく。そのため、イベントなどを開催し、人が集うにぎわい空間を創出できるように取り組む。

問 「縁の郷」はどうするのか。

答 町長 過去2年間、指定管理者の公募を行ったが、応募者がいない。これまでの発想を転換した活用方法を模索していく。

問 他の観光資源とは。

答 町長 歴史や文化、豊かな自然に恵まれた観光資源が点在している。それら

住環境整備支援は

問 民間企業のノウハウを生かした住宅用地整備への関わり方は。

答 町長 定住人口の確保と地域の活性化を図るため、民間企業のノウハウを生かした住宅用地整備の推進が



▲町民が利用しやすい道の駅へ

スーパー誘致の状況は

問 スーパーマーケット誘致と移動販売車導入の進行状況は。

答 町長 これまで複数の企業と協議してきた。現在、その用地や形態なども含め、具体的に調整しているが、まだ示すことはできない。

移動販売車はスーパーマーケット進出企業との連携のもとに実施できればと考えている。

の資源を線できつなぎ、道の駅を情報発信のハブとし、SNSを活用した積極的なプロモーションを展開し、本町の活性化につなげていく。

問 「若者子育て世帯定住促進奨励金」の内容を見直しては。

答 町長 これまで町内への定住促進に一定の効果を上げておりと認識しているが、社会情勢や住宅取得の実態の変化を踏まえ、制度の効果検証を行っていく。

かわまちづくりの進捗は

計画どおり進めていく(町長)

問 ※レジリエンスベースの進捗状況は。

答 町長 第2回かわまちづくり事業に関する調査特別委員会において、国土交通省から「令和12年度中の完成予定」との説明があり、現在も計画工程どおり順調に進んでいると伺っている。

問 レジリエンスベースの用水路の上流部分が深さ1.5メートルあり、転落の危険性がある。危険防止策を施してほしいとの要望がある。今後の対応は。

答 復興推進課長 国の工事の中で、そちらの対策もしていただけるのか相談、調整を進めていきたい。

問 交流拠点施設の予定は。

答 町長 レジリエンスベースの盛土が完了したのち、令和13年の工事着手を



すず き やす のり
鈴木 安則 議員



想定している。多くの利用者の皆さまに喜ばれ、親しまれる機能を備えた魅力ある交流拠点施設となるよう、しっかりと検討を進めていく。

問 建築後の交流拠点施設の指定管理者の公募は。

答 復興推進課長 現在調整している。

問 飲食テナントおよびイベント出店者については。

答 復興推進課長 今、調整を進めている。

問 大郷町かわまちづくり協議会が改選により新たなメンバーで協議が行われている。内容を伺う。

答 復興推進課長 協議会は年4回を想定している。4月に一度開催している。

問 河川敷を利用した各エリアの概要は。

答 町長 「かわまちづくり計画」において、多目的広場をはじめ、パークゴルフ場、キャンプ場、バーベキュー場、そしてドッグランといった施設整備を計画している。

一般質問

柏川地区防災コミュニティセンター

問 緑地帯の整備は。

答 町長 柏川地区防災コミュニティセンター西側の広場に芝の種子散布を行うとともに、広場を囲むアスファルト舗装や防護柵の設置を計画している。

問 水害の記憶を風化させない施策は。

答 町長 被災の経験と教訓を次世代へつなぐため、防災訓練の実施や、ミズベで乾杯などで啓発活動を行っている。

問 ミズベで乾杯は恒久的開催か。

答 町長 「大郷町かわまちづくり協議会」において決定する内容である。

SSP予定地の基盤整備再編入は

問 60ヘクタールの再編入に向けた同意は100%得られたのか。

答 町長 60ヘクタールの地権者および耕作者、併せて75名全員から「編入を希望する」と回答を得た。

※レジリエンスベース(水防災拠点)：河川の掘削土を活用して造成される盛土拠点。災害時は防災・減災拠点。平時は地域活性化に活用される。



▲復興のシンボル

2割増商品券、イノシシ対策費を計上

議案第36号 一般会計補正予算（第3号）は歳入歳出それぞれ1158万1千円を追加し、総額57億9818万9千円となりました。

商品券発行事業補助金 550万円	国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源として、2割増商品券を発行し、地域経済の活性化を促進する。 ・額面6000円の商品券を5000円で5000セット販売 ・9月から販売し、12月までの使用期限とする予定
鳥獣被害防止施設購入事業補助金 100万円	鳥獣被害防止施設（電気柵、金属柵など）の購入に要する経費の一部を補助する。申請の増加により、増額したもの。

議案第37号 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は歳入歳出それぞれ528万3千円を追加し、総額10億2560万2千円となりました。療養費および高額療養費について、保険者間の調整によるもの。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	鈴木安則	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	高橋重信	石垣正博
臨時第3回 補正予算	議案第36号 一般会計(第3号) 57億9818万9千円(1158万1千円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第37号 国民健康保険(第1号) 10億2560万2千円(528万3千円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額
可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない。

町議会解散請求に関する調査特別委員会

これまでに以下の活動を行いました。

- 第2回
令和8年4月8日
- ・令和6年12月18日の解散請求代表者証明書の交付から、令和8年3月11日の住民投票の中止決定までの一連の経緯を委員間で情報共有
 - ・調査対象、調査方法を整理
- 第3回
令和8年6月5日
- ・再発防止策について建設的な議論・提言を行うことを確認
 - ・調査方法を協議・整理および選挙管理委員会等に質問状を提出することを確認
- 第4回
令和8年6月30日
- ・質問状の内容を精査・協議
 - ・8月上旬の第5回委員会で質問状の回答を確認

議会の主な動き（4/1～6/30）

月 日	用 務	月 日	用 務
4/1	すくすくゆめの郷こども園入園式	5/27	議会運営委員会
4/3	広報広聴常任委員会	5/28	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会並びに鳴瀬川総合開発促進期成同盟会総会[大崎市]
4/6	春の交通安全運動大郷町開始式	6/2～5	第2回(6月)定例会
4/8	町議会解散請求に関する調査特別委員会・大郷中学校入学式	6/2	広報広聴常任委員会
4/9	広報広聴常任委員会・大郷小学校入学式	6/5	町議会解散請求に関する調査特別委員会
4/16	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議[仙台市]	6/6	吉田川大規模災害関連事業完成式
4/21	総務産業常任委員会視察研修[石巻市]	6/11	教育民生常任委員会
4/28	黒川地方市町村議会連絡協議会監事会並びに役員会[富谷市]	6/14	大郷町消防団消防演習・黒川地区支部操法大会
5/1	教育民生常任委員会	6/16	広報広聴常任委員会
5/7	宮城黒川地方町村議会議長会正副会長会議・監事会[仙台市]	6/17～19	総務産業常任委員会視察研修[千葉県多古町・睦沢町]
5/13	黒川地方市町村議会連絡協議会総会[富谷市]	6/22～24	教育民生常任委員会視察研修[静岡県清水町・吉田町]
5/15	日本赤十字社宮城県支部へ訪問[仙台市]	6/24～26	宮城黒川地方町村議会議長視察研修[佐賀県・長崎県]
5/19	議員全員協議会・議会運営委員会	6/26	議会改革調査特別委員会視察研修[大衡村・松島町]
5/20	仙台北部道路建設促進期成同盟会監査	6/27	議会報告会[大松沢社会教育センター・粕川地区防災コミュニティセンター]
5/21	2026原水爆禁止国民平和行進宮城県実行委員会の要請に対応	6/28	議会報告会[ふれあいセンター 21・中村分館]
5/22	宮城県町村議会議長会臨時総会・宮城黒川地方町村議会議長会臨時総会[仙台市]	6/29	第3回臨時会
5/26	黒川地域行政事務組合議会運営協議会・臨時会[大和町] 全国町村議会議長・副議長研修会[東京都]	6/30	広報広聴常任委員会・議会改革調査特別委員会 町議会解散請求に関する調査特別委員会

ふるさと納税の有効活用を

新たな返礼品の発掘を図っていく(町長)

問 米や牛肉が寄付額の上位を占めているが、今年度は、どのように進めていくのか。

答 町長 人気の高いお米は農業法人との連携により数量確保に努める。新たな返礼品の発掘、イベントへの参加、SNSの活用などによるPRを図る。

問 企業版ふるさと納税の取り組みは。

答 町長 企業訪問の実施やイベントへの参加など、企業との関係構築に努める。

問 寄付金はどのように活用されているのか。

答 町長 産業・健康・教育・協働の選択肢から指定していただき、各事業に充当している。



さ さ き かず お
佐々木 和夫 議員

オーガニック・ビレッジ
問 農業者等のメリットは。

答 町長 病害虫対策など労働力の確保などの難しさがあるが、有機農業に取り組むことは信頼される生産者として認知される。また、高付加価値の農産物として販売していくことも可能である。



▲コウノトリが飛来した本町の農地



▲有機JAS認証取得を目指す農地

問 野菜の品質や価格等のメリットは。

答 町長 有機JAS規格基準をクリアした農産物として、さまざまな特徴を持つ。野菜本来のうま味・甘みが凝縮されやすい傾向がある。

問 オーガニック・ビレッジ宣言をどのようにアピールしていくのか。

答 町長 学校給食への食

材提供や道の駅での有機農産物コーナーの設置を予定している。郷の有機特別栽培米等の取り組みを強化し「安全・安心な農産物を生産している町」として発信していく。

※オーガニック・ビレッジ：農林水産省が推進する、有機農業の生産から消費まで一貫した取り組みを地域ぐるみで進める市町村。

共に考えましょう 大郷の未来を



▲粕川地区防災コミュニティセンター



▲中村分館

町内4地区で議会報告会を開催（6月27日・28日）

令和8年度の予算概要説明後、意見交換会を行い、多くの方にご参加いただき、たくさんの方の貴重な声が寄せられました。皆さまの声をこれからの活動にどう生かせるのか、しっかり考えてまいります。

意見・要望

問 議会広報に「かわまちづくりに対しては慎重に進められたい」とあるが、どういう意味か。

答 リスク面も考慮した調査をして慎重に進めるべきという提案であり、ストップするということではない。

問 「町議会解散請求に関する調査特別委員会」設置の意味は。

答 原因を検証し、今後の再発を防止するため。

問 SSP予定地60ヘクタールがまだ基盤整備計画に入っていないが、議会は把握しているか。

答 現在、関係者間で協議中とのこと、いつ確定するのか町から具体的な報告はない。

問 太陽光ソーラーパネルを設置するための基準や制約はあるのか。

答 20ヘクタール以上の開発に対しては、町の開発調整会議で精査・審議する。町が同意し、県が許可を出す。

問 縁の郷・ふれあい農園の今後は。
答 縁の郷は施設ごとの募集を検討し、ふれあい農園は今年中に方向性を確定する予定。



▲大松沢社会教育センター



▲ふれあいセンター21

問 ふれあい号の利用範囲を拡大できないか。

答 地域公共交通協議会で検討している。

問 多面的機能活動組織交付金の長寿命化対策の申請に対し、交付金支払いが遅いので、早くならないのか。

答 早く支払いができないか確認する。

その他の意見

- ・こども園周辺の道路側溝に蓋を設置してほしい。
- ・町道の草刈り回数を増やしてほしい。
- ・老人クラブの助成金について人数制限を撤廃してほしい。
- ・SSP（スマートスポーツパーク）に係った費用を調査してほしい。
- ・クマ対策の果樹伐採作業を早急に行ってほしい。
- ・行政区再編を検討しては。難しければ、まず各種団体の再編を試みては。
- ・地域おこし協力隊関連費用の効果を検証すべき。

寄せられた意見につきましては、議会として町に要望してまいります。

追跡リポート



SSP予定地の活用は

これまでの意見・提言等

問 基盤整備再編入時の条件を伺う。

答 県に相談をしたところ、SSP構想予定地であった60ヘクタールに関わる地権者、耕作者全員が編入を希望することが条件で、そこから県は協議を開始する。

(令和8年3月定例会 一般質問より)

その後の対応と今後の計画

町は対象地を農地として活用する方針を決定し、そのうえで、水路の取り回しや地域の意向を踏まえ、基盤整備事業への再編入を目指しています。再編入するためには、県よりさまざまな事項について確認するよう求められており、そのうちの1つである対象地60ヘクタールの地権者等全員の再編入に向けた意思については確認を終えています。

今後は、すでに事業採択されている300ヘクタールの地権者等を対象に説明会を開催し、再編入への了承を得ていきたいと考えています。

地域に対しての確認が整い次第、速やかに次の協議を進めてまいります。

農林振興課



▲基盤整備再編入が待たれる農地

有害鳥獣被害の現状は

これまでの意見・提言等

問 イノシシの捕獲頭数および被害額は。

答 4月から10月までに80頭。その後、猟期に入って40頭を超え、合計で120頭を超えている。農作物被害は21件約300万円である。また、果樹や栗、水田の畦畔や用排水路の掘削被害、ビニールハウスの破損など、さまざまな被害があると認識している。

(令和7年12月定例会 一般質問より)

その後の対応と今後の計画

令和7年度末の実績は、捕獲頭数190頭、農作物被害額3,568千円(報告があったもの)となりました。町内各所で水稻、野菜などの被害のほか、水田の畦畔の掘り返しなどの被害も発生していました。

これらを防ぐ対応として、わな猟免許の取得・更新費用(2件11千円)や電気柵などの鳥獣被害防止施設購入費(22件1,153千円)の助成を実施しました。

令和8年度からは狩猟免許と銃砲所持許可まで対象を広げ、担い手の育成と啓発を進めています。今後も、補助金の活用と鳥獣被害対策実施隊との連携により、対応を強化してまいります。

農林振興課



▲繁殖力が非常に高いイノシシ

教育民生 常任委員会

5/1

部活動の地域展開について



▲現状・課題について各課から事業説明

【調査の概要】

令和8年5月1日(金)、役場3階第3委員会室において、社会教育課長・学校教育課長より部活動の地域展開について説明を受け調査した。

【意見】

(1) 指導者の確保について

人材不足が大きな課題だが、町内を始め、地域のスポーツ・文化芸術団体、県指導者バンク等に働きかけ、指導者の確保に努められたい。また、指導者には県実施の指導者研修の受講を義務化するとともに、学校・保護者・児童との連携を密に行い、学校と地域クラブとの情報共有、児童や保護者の安心・安全に万全を図られたい。

(2) 運営面の課題について

運営費・送迎などの家族負担、安全な活動場所の確保、環境の変化(指導者・他校生徒等との人間関係)など、考慮すべき課題に対し、適切な対応を検討されたい。また、今年度から部活動が任意加入となり、部活動を選択しない生徒が一定数存在する。選択肢が多様化するなかで、当町においては、公民館講座等への参加やジュニアリーダー活動も地域展開活動としていく方向性が示された。多種多様な体験を通して、地域社会の活性化につなげる展開とされたい。

(3) 各種団体との連携について

当面は、教育委員会が運営主体となり、学校部活動や地域の指導者、部活動地域展開協議会、各種団体等と連携・協議を重ね、円滑な地域展開に向けて取り組みを推進されたい。

次回は

「こども家庭センターについて」を調査します。

総務産業 常任委員会

4/21

森林整備について



▲代表者(右)から説明を受ける様子

【調査の概要】

令和8年4月21日(水)、(株)バンブーフクトリー(石巻市)代表から事業概要について説明を受け、竹資源の活用について調査した。

(株)バンブーフクトリーは「竹林整備で地域貢献」を掲げ、竹を原料とした商品開発に取り組んでいる。放置竹林の伐開、伐採を行い、竹をチップ化して活性炭を製造している。

【意見】

- ・森林の整備については、令和6年3月に策定された「大郷町森林整備計画」に基づき、整備を推進されたい。
- ・町内の竹林について現状調査と所有者への意向調査を実施し、各地域の生態系を考慮した整備計画を作成されたい。
- ・竹林の有効活用を町主導で推進する事業モデルを検討するとともに、放置竹林の管理整備を進められたい。
- ・林野庁による「森林山林多面的機能発揮対策交付金」を活用した竹林整備を検討されたい。
- ・森林環境整備基金を活用し、竹林整備に必要な資機材の準備も検討されたい。
- ・竹を原材料とした商品開発を行い、道の駅での販売やふるさと納税返礼品として町のPRに努められたい。
- ・竹チップを原料とした肥料は野菜の病気対策に有効となっている。また、竹活性炭は家畜飼料の添加物としての利用や牛舎等の臭気対策に期待できるため、活用を検討されたい。

次回は

「農業振興について」を調査します。

住 民 の 声



きくち みちこ
菊地 路子 さん
(川内)

大郷の未来を担う子供たちの 学びを支えたい

3年前に大郷町へ転居してきた時、夜空に浮かぶ星の美しさに感動しました。豊かな自然と温かい人に囲まれたこの町が大好きです。だからこそ、次世代を担う子供たちの教育環境の充実を願っています。

近隣市町村では、放課後に学習や体験活動を行う「放課後子供教室」が開催されています。大郷町でもこうした場を設け、将来的には、町長が公約に掲げている「町塾」の開講へとつなげてほしいと願っています。

地域が一体となって子供たちの学習をサポートする仕組みができれば、町全体の学力向上や、安心できる居場所づくりになると考えます。基礎学力は子供たちの夢の土台となります。私自身、将来はその「町塾」などの場で、子供たちの学びを支えるお手伝いができたらと思っています。議会の皆様には、大郷の宝である子供たちの未来に向けた、積極的な教育施策の推進を期待いたします。

町村議会議員講座(県自治会館)

7/2 「人口減少時代の地方議会のあり方」

東京都立大学人文社会学部教授 山下 祐介 氏

7/3 「これからの地方議会と地方議員」

東京都立大学法学部教授 大杉 覚 氏



次回定例会

予定

9月3日(木)から
午前10時～
9月18日(金)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube (ユーチューブ)」にて、配信しています。下記のQRコードよりご覧になれます。



大槌町 林野火災義援金

5月15日、令和8年4月岩手県大槌町で発生した林野火災によって被災された方々の生活を支援するため、義援金を贈りました。

義援金額 12万円

日本赤十字社を通し被災地支援に



編集後記

今年も大郷小6年生が定例会を傍聴し、感想が寄せられました。議会を身近に感じていただく機会となれば幸いです。

議会報告会ではたくさんのご意見ご要望が寄せられました。課題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、現場の声に耳を傾け、一つ一つ着実に取り組むことが議会の責任だと感じています。

これからも分かりやすく親しみやすい広報づくりに努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

鎌田 暁史



広報広聴常任委員会

委員長 高橋 重信
副委員長 鎌田 暁史
委員 鈴木 安則
赤間 繁幸
鈴木 恵子
田中三恵子